

を推進することにより、腎不全や人口透析への移行を防止し、一人一人が健康を保持し、疾病予防を推進する事を目標に保険事業に取組んでいく。

(福祉部長)

議席3番

相良 昌宏 議員



### エコスクールについて

**Q** 小・中学校におけるエコスクールの取組について。

**A** 平成23年度長田小学校における校舎の改築時にエコスクールパイロット・モデル校の認定を受けて、太陽光発電設備を設置した。また、各小・中学校に太陽光パネルを設置し、校舎の電力として使用する他、環境教育の教材としても活用している。今後とも「エコ

スクール・プラス」の対象とする施設・設備の整備について検討していく。

(教育次長)

### 高齢者支援について

**Q** 高齢ドライバーの免許返納について。

**A** 交通手段がないなどの理由により、免許を返納できない事などから、境町公共交通活性化協議会を設置し、境町地域公共交通網形成計画を策定中であり、当面は循環バスについて、10人乗りのワゴン車を、2ルート程度復活させる検討をしている。また、ブレーキとアクセルの踏み間違え防止機器「ペダルの見張り番」等の購入時の補助金も併せて検討していく。また、免許の返納に関わらず福祉タクシー利用助成事業を実施している。

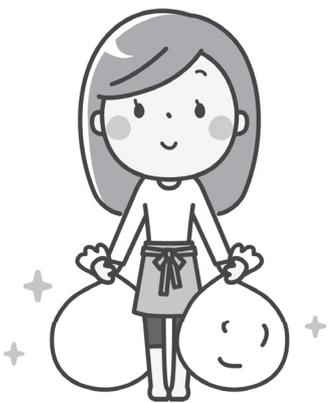
(町長・総務部長)



**Q** 高齢者のゴミ出し支援について。

**A** 町では高齢者の支援として、平成30年度から生活支援体制整備事業を社会福祉協議会に委託し実施している。町の生活圏域を2つに分け「えんがわ」と「つながり」の協議体を設置し、買い物や通院、ゴミ出しといった困りごとを地域の元気な高齢者やボランティア・民間企業等、行政に頼らない地域づくりを進めている。昨年のゴミ出し支援は「えんがわ」の2回となっている。

(福祉部長)



議席5番

櫻井 実 議員



### 防災・減災対策について

**Q** 広域避難所の備蓄品の保管について。

**A** 各指定避難所、防災倉庫も浸水する特性を踏まえ備蓄は最小限とし、令和4年までに避難対象者2日分の備蓄を計画している。また、広域避難所2校において未使用の空き教室の利用が可能であり、10月26日の総合防災訓練までに備蓄したい。

町としては、行政に全てを頼るのではなく、町外の知人宅に備蓄品を用意する等、各個人における避難準備を推進している。

(町長・理事兼防災安全課長)